

R5 埼玉県学力・学習状況調査 正答率結果

		入間川中	狭山市	埼玉県	県との差
1年生	国語	66.5	63.8	63.8	2.7
	数学	61.8	58.5	56.4	5.4
2年生	国語	63.0	61.4	60.2	2.8
	数学	62.3	62.8	59.0	3.3
	英語	52.4	53.2	53.3	-0.9
3年生	国語	57.8	55.3	55.5	2.3
	数学	66.5	62.7	60.8	5.7
	英語	53.5	52.5	50.4	3.1

R5 全国学力・学習状況調査 正答率結果

		入間川中	埼玉県	全国	県との差
3年生	国語	73	71	69.8	2.0
	数学	55	52	51.0	3.0
	英語	46	46	45.6	0.0

# 埼玉県学力学習状況調査結果の考察

## 【 国語 】 科

### 【 1年生】

全体的には高く、古文や読解に関する問題も正答率が県平均や市の平均よりも高い。また、文法に関する問題も概ね平均と同程度の正答率がある。しかし、四字熟語など語句に関する設問や発表に関する部分が弱い。

### 【 2年生】

全体的には高く、物語の読解についても良く解けている。歴史的仮名遣いについては、県や市の平均よりとても高い。文法については、概ね県や市の平均と同じか平均より高い。しかし、ことわざや慣用句など語句に関する問題は、平均より低い。また、文章の中心的な部分を捉えるなど、説明的文章の読解にも課題が見える。

### 【 3年生】

全体的には高く、文法に関する設問も県や市の平均より高いか同程度の正答率がある。また、古文や漢文の基礎知識については、県や市の平均よりも高い。しかし、四字熟語など語句に関する問題や、古文の内容を問う問題、説明的文章の全体と部分の関係を問う問題は、平均より低く課題がある。

### 【対策】

朝コバで語句に関する設問を取り扱うなど、文法だけでなく四字熟語など語句に関する設問に触れさせ慣れさせていく。また、説明文の読解について、丁寧に読み解くようにしていく。

# 【 数学 】 科

## 【 1 年生】

- ・ 小数と分数の四則混合計算
- ・ 逆数
- ・ 分数で割ることの意義、やり方
- ・ 割合
- ・ 図をもとに関係を式化する
- ・ 線対象
- ・ 関数関係の理解, 比例の特徴
- ・ 立体の体積, 底面積を決めた時の高さ
- ・ 縮図
- ・ グラフの特徴
- ・ ヒストグラムの読み取り, 相対度数

☆ 小数, 分数を含む四則演算  
☆ 割合  
☆ 関数関係の理解と比例の特徴  
☆ 立体の求積  
☆ 資料の活用

## 【 2 年生】

- ・ 代入と式の値
- ・ 関係を不等式に表す
- ・ 関数関係の理解
- ・ 資料の範囲
- ・ 四角錐の体積
- ・ 球の表面積
- ・ 座標
- ・ グラフの読み取り, 式化
- ・ 関係を読み取り文字式に式化する
- ・ おうぎ形の中心角
- ・ 円の接線
- ・ 変わる面積から関数関係を読み取り式化する

☆ 式の値  
☆ 大小関係の不等号を使った式化  
☆ 図形 (体積, 表面積, 扇形の中心角)  
☆ 関数関係の式化  
☆ 座標, グラフの読み取り

## 【 3 年生】

- ・ 立体の表面積
  - ・ グラフの特徴から一次関数の式化, 変化の割合
  - ・ 平行四辺形の条件
  - ・ グラフの傾きと変化の割合
  - ・ 証明

☆ 立体の求積  
☆ 一次関数の式, 変化の割合  
☆ 証明 (図形の性質)

## 【 1 年生 】

### 1 学習について

#### ①学習に対して積極的に取り組もうとしている面、

例 あなたが勉強する理由は何ですか。楽しい、好き、将来のためと答えが多数  
家族・友人から認められたいからという回答が少数  
問題が退屈でつまらないときでも、それが終わるまでなんとかやり続けられるように努力する

#### ②半面、学習に対して消極的な面

例 ①授業中に集中していない、あまり頑張っていない

#### ②先生の話や友達の発表をしっかりと聞いていない

- ・メモを取る習慣 ・具体的にイメージをして聞かせる
- ・「わすれないぞう」を書かせる
- ・顔を上げ、見るまで待つ
- ・質問をする場を設ける（考えさせる質問をこちら側が準備）

#### ③グループやペアで、話し合ったり、意見や考えを出し合ったりして課題を解決していない

- ・少人数グループで話し合いを授業中に行う
- ・ジグソー活動を行っている
- ・話し合いの仕方を教える
- ・わからない人が聞く
- ・教えあい
- ・席替えのテーマも「グループで意見を出す」という趣旨で行う
- ・書くことはできている→発展的な返しを伝えていく
- ・話し合いの仕方を伝える

とはいえ、授業を通して学んだ内容について、さらに詳しく知りたい、学びたいと思ったこと 約 7 割

潜在的に「わかりたい・できるようになりたい」と欲している生徒が多い

### 2 生活について

#### ①よくできている面

時間を守ること 身の回りの整理整頓は大変良くできています。

#### ②課題

- ①名前を呼ばれたら「はい」とはっきり返事をする
- ②時と場に合った適切な言葉遣いをする
- ③相手の気持ちやその場の状況を考え、優しい言葉遣いをする
- ④自己肯定感を高める

例 自分には、よいところがあると思いますか・・・県、狭山市 76%超 本校 66%  
難しいことでも失敗をおそれないで挑戦していますか

・・・県・狭山市 26%超 本校 20%

○本人の努力を承認すること・・・・・・・・エニアグラムの利用

得意な面を承認（伝え合う）

できている人にフォーカスする

○相談しやすい場を設定すること・・・おとなしい生徒には意図的に声をかける

○友人同士で良さを認めること・・・・・・・・ほめもの木を实践 夢マップ

## 【 2 年生 】

### Q 勉強してわからないところがあったら、先生に聞く

→県や市に比べ良い結果となっている。関係性のよさの表れと思われる。今後も気軽に聞けるような関係性を大切に指導に当たる

### Q 勉強の取り組みに対して

→退屈な課題に対しての取り組みや、難しい、面倒くさい課題に対しても粘り強く取り組める傾向にある。県や市の結果よりもいい状態であるが、授業の中では、下位の生徒への支援、段階を追ってのヒントシートの用意など、各教科ごとに工夫するとさらに良い。

### Q 勉強して大切だと思ったところは、言われなくてもノートにまとめる

→県や市に比べ良い結果となっている。授業のノートでも、先生の言ったことや自分の感想などが書かれたものがあり、機会を見つけて紹介していくとよい。

### Q 計画を立てて学習に取り組む

→県や市よりも良い結果であり、昨年度よりも微増。定期テストをきっかけとして、取り組みを促していく。

### Q 勉強する前に、これから何を勉強しなければいけないのかを考える

→昨年度は県や市の結果よりも低かったが、今年度はかなり改善している。県、市とも昨年度より低下しているが、本校ではよい状況である。授業においても、この時間で何を学習するのか「ねらい」を明確にすることで、意識づけにつながっているのではないと思われる。

### Q 今やっていることが気に入らなかったとしても、学校でよい成績を取るために一生懸命頑張る

→昨年度は県、市よりも低かったが、今年度は改善傾向にあり、県、市よりも上回っている。授業での取り組みの様子からも納得できる結果となった。

### Q 勉強で大切なところは、繰り返し書くなどして覚える

→昨年度は県、市平均よりも10P近く差があった項目である。今年度は県、市とも変化がなかったのに対し、本校では大幅に改善し、県、市平均よりも上回る結果となった。

**Q 授業で教えてもらった基本的なところは理解できた**

→「よくあてはまる」「少し当てはまる」までの合計が、昨年度は60Pを下回っていたのに対し、今年度は県、市平均を超えるなど、20Pの改善を見せ、約8割の生徒がそう思っている。「わかる」自信を、家庭学習や次の学習につなげる意欲づけをすることが大切。

**Q 机、ロッカー、部屋が散らかっていたので、必要なものを見つけられなかった**

→この項目は昨年度も県、市平均よりも低く、今年度も同様の結果となった。本学年の課題である。昨年度も委員会を通じてキャンペーン等の取り組みを行ったが、引き続き取り組んでいく必要がある。

**Q 自分にはよいところがある**

→昨年度県、市平均よりもかなり低く、本学年の課題として昨年度取り組んだ。今年度は10P近く改善し、学年での行事後などに行った「認め合い活動」の取り組みが評価された。今年度も引き続き取り組みを続けていく。

**Q 将来の夢や目標を持っている**

→上の項目同様昨年度県、市平均よりも低かったものである。今年度県、市平均がポイントを下げる中、本校はやや改善し、平均を上回ることができた。上の項目同様自己有用感、自己肯定感につながるものであるため、今年度は進路学習も含め、引き続き重点的に取り組む。

**Q 机やロッカーの中、身の回りの整理整頓をすることができる**

→上の「必要なものを見つけられなかった」に通じるものであり、こちらも同様の結果となった。今年度の最重要課題として取り組む。

**Q 誰に対しても進んで挨拶をすることができる**

→昨年度県、市平均よりも大幅に低く、重点的に取り組んできた項目である。今年度は20Pの大幅改善で、80%を超えた。「まずは教師から」という姿勢を忘れずに、引き続き「はい」という返事とともに指導していく。

**Q 時と場に応じた適切な言葉遣いができている**

→この項目も昨年度県、市平均より下回った項目だが、今年度は平均を超え、90%を超えた。相手の気持ちを考えた言葉遣いも併せて意識させていく。

**Q 学習の準備を整え、授業に臨むことができているか**

→昨年度に引き続き9割以上の生徒ができている。2分前着席と併せて指導していく。チャイムの後では、よほどのことがない限り学習用具を取りに行かせないなどの指導も大切。

**Q 先生の話や友だちの発表をしっかりと聞き、自分の考えを伝えることができる**

→70%を超えているものの、県、市平均より低いため、各授業等で、よい発表の仕方をレクチャーしたり、意識的に発表の場を増やすなどで、自信をつけさせていく。

**Q 人の集まる場所では静かにし、その場にふさわしい態度をとることができる**

→90%を超えており、引き続き集会指導を通して、身につけさせていく。集会の場においては私語はもともとなく静かにできるので、足、姿勢（顔を上げる）と表彰の場面を中心に指導していく。

**Q 落ち着いた学習する雰囲気があったか**

→県、市平均を大幅に上回り85%を超えている。各教科担当のおかげであるが、学校においてはここが一番大事な項目であるので、気を抜かずに「授業規律」を大切に取組んでいく。

**Q 先生は自分のよいところを認めてくれましたか**

→「先生は相談に乗ってくれた」「わからないところをわかるまで教えてくれた」の項目も含め、すべて県、市平均を上回り、90%を超えている。教師、生徒間の関係性のよさが表れている。

※ 「学校が楽しい」「行事に一生懸命取り組む」「友だちが認めてくれる」の各項目とも90%を超えており、学校生活の充実度は高いものと思われる。学習面においては、家庭学習時間は市平均よりも上回っているが、県平均よりは下回っており、家庭学習ノートの充実等指導していく。また、「規律ある態度」達成目標についても同様の結果となった。具体的には、あいさつの項目が61.6%→83.6%、丁寧な言葉遣い87.7%→97.3%と改善が見られ、学年の取り組みが評価された形になった一方で、整理整頓の項目は、昨年度に比べ若干の改善はあったものの、相変わらず67%と低い。また、話を聴き発表するの項目についても微増となったが、昨年度とあまり変化がなく、72.6%にとどまった。この2つの項目については、本年度も重点的に取り組んでいく。